

# 公開セミナー「かごしまのエネルギーを知ろう」

東北大震災、福島原発事故以来、原子力発電の安全に対する信頼性が大きく揺らぎ、防災に関する懸念が非常に高まりました。一方で変化が激しい世界情勢の中、エネルギー自給率が極めて低い我が国では、1%でも自給率を増やす工夫が必要です。鹿児島には地熱、バイオ、ソーラー、風力、火力、原子力、水力のほぼすべての電力源があり、川内原子力発電所は福島原発事故後の最初の再稼働発電所となっています。本セミナーでは、日本そして鹿児島のエネルギー資源・事情、また、地元にある原子力発電所の最新の安全・防災対策を、講演ならびに川内原子力発電所の見学を通して学び、地域の明日を、ずっと未来の日本を考えます。

日時：令和2年3月16日（月）10：25～16：30

会場：鹿児島大学工学部共通棟202号室（2階）

（市電唐湊電停で下車後西門から工学部キャンパスに入って中央の棟）

対象：専門学校、短大、高専、大学の学生及び教職員

参加：無料（先着80名まで参加を受け付けます）

次第：10：00 受付開始

10：25 開会

10：30 講演（九州電力 和田幸雄氏、篠田順二氏）

1部 世界・日本・鹿児島のエネルギー事情

2部 川内原子力発電所の安全対策と防災対策

12：00 昼食・休憩

13：00～16：30

1部 川内原子力発電所展示館見学

2部 川内原子力発電所内見学

申込（二次締切、令和2年2月27日、以降は受け付けません）

鹿児島大学理工学研究科技術部 前田義和

電子メール：maro@mech.kagoshima-u.ac.jp

**注意：原発所内見学には公的身分証明証携帯が必ず必要です。**

A. 1) 運転免許証、2) パスポート、3) 写真付住民基本台帳カード、4) 在留カード（あるいは特別永住者証明書）のどれかひとつ

B. 1) 住民票（写真のない住民基本台帳カード、住民票記載事項証明書を含む）、2) 健康保険被保険者証、3) 年金手帳の内から二つの組み合わせ

C. 在学証明書と学生証

※どの証明を用いるか申込時（例えばA1、あるいはB1と2）にお知らせください。

※※申込には氏名、学校名、学年（教職員の場合その旨）、生年月日をお知らせください。

主催：中村祐三（鹿児島大学理工学研究科）、九州電力鹿児島支社

共催：かごしま材料学研究会（第13回技術懇話会）